

# 令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【与野東中学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	全体的な基礎・基本の知識・技能に関しては年間を通して高い定着率であった。ただ、個別に見ていくと支援が必要な単元も見受けられるので、AIが導入されているドリルパークを活用し、個別最適な学習を行えるように進めていく。また、R7年度も主体的な学びとなるように授業改善を意識していく。
思考・判断・表現	各教科において、単元を通してみた際の協働的な学びに課題が見られた。単元計画を見直し、計画の中で共同編集を位置付け、計画的な協働学習の場を設けていく。また、全国学力・学習状況調査の国語の「書くこと」において課題が見られたため全学年で「書くこと」に取り組める単元計画を意識した授業を行い、R7年度の全国学力・学習状況調査で引き続き改善状況を検証していきたい。

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<p>&lt;学習上の課題&gt; 基礎的・基本的な知識の習得は多くの生徒ができていくが、技能として表出することに難のある生徒がいる。</p> <p>&lt;指導上の課題&gt; 知識習得が難しい生徒が各クラス数名いて、クラス全体での学習目標設定がしにくい。</p>	⇒ 知識習得が苦手な生徒のために、スタディサプリやドリルパーク等を活用し、反復・習熟に取り組ませる。【単元ごとに設定】
思考・判断・表現	<p>&lt;学習上の課題&gt; 国語の「思考・判断・表現」の記述式問題の無解答や正答率が低い。</p> <p>&lt;指導上の課題&gt; 生徒が主体的な学びとなるような授業が少なく、教師からの知識伝達授業が多くなってしまっている。</p>	⇒ 授業単元の中に協働的な学びを通して考えたり、表現したりすることができるようにする【R6年度さいたま市学習状況調査「学級の友達との間で話し合う活動を通して自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の質問項目において、肯定的な回答の割合が90%以上】。

⑤	評価(※)	調査結果の授業改善策の達成状況
知識・技能	B	それぞれの教科でスタディサプリを活用した学習が少しずつ定着し、自校テストなどの結果に伸びが見られた。また、3年生は朝読書の時間にドリルパークやスタディサプリを活用した朝学習を実施し、学習習慣の定着化が図られた。
思考・判断・表現	B	授業計画を各教科で見直し、活動の中にICT機器を活用した共同学習の時間を設定することができた。また、共同編集アプリ等の活用で、協働的な学びを少し進めることができた。

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	国語と数学ともに、さいたま市・全国の平均を大きく上回っており、大きな課題は見られなかった。数学・国語ともに、知識・技能における学習が継続されるような授業を展開し、知識・技能の工場を子ども主体の学びで得られるような授業を継続していく。
思考・判断・表現	国語の「書くこと」において、さいたま市・全国の平均をどちらも超えているが、昨年度よりも平均との差が小さくなっている点に課題が見られた。「読むこと」における平均との差は高いため、文章から考えを読み取ることができていると考えられる。ただし、読み取ったことを自分なりに言語化して文章化する能力をさらに上昇させるため、考えをまとめる活動を今後も授業に取り入れていく。

①結果分析(管理職・学年主任等)  
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	どの教科でも市の平均を大きく上回ることができていた。今後も継続して、既習事項を確認したり、繰り返し学習させたりして、さらなる定着を図っていく。また、知識の概念的な理解を大切に、中学一年生、二年生全ての生徒の知識・技能の獲得を後押しできるよう授業改善に努めていく。
思考・判断・表現	どの教科でも市の平均を大きく上回ることができていた。ただ、中学2年国語・書くことの部分など、特定の内容の正答率が他と比べて特に低くなってしまっていた。今後も、自分の考えを言葉で説明したり、プリントにまとめたりする活動に重きをおいていく。授業の中で様々な考えに触れながら、それぞれの生徒の思考力・判断力・表現力を高める授業を行えるようにしていきたい。

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	B	スタディサプリやドリルパーク等を活用し、知識の習熟に取り組んだが、毎授業はできなかった。	変更なし
思考・判断・表現	B	授業中にICT機器を活用して共同学習を行ってきたが、協働的な学びと言えるまでにはならなかった。今後も引き続き協働的な学びを通して考えたり、表現したりする授業に取り組んでいく。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)